

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|---------|------|--------|--------|----------------|---|
| シラバス年度 | 2022年度 | 開講キャンパス | | 宮崎キャンパス | 開設学科 | | 健康栄養学部 | | |
| 科目名称 | カウンセリング概論 | | | | | 授業形態 | 講義 | | |
| 科目コード | 111620 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 2年 | 実務経験教員 | ○ | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 矢島 順 | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>講師は精神科病院や公立中学校スクールカウンセラー業務、さらに私設心理相談室宮崎カウンセリングセンター等での臨床現場で成人、児童生徒へのカウンセリングを行ってきています。平成29年に第1回国家試験が行われた公認心理師資格も取得しました。臨床現場での経験をもとに事例を交えながらわかりやすく授業します。</p> <p>この授業の目的その1は、いくつかのカウンセリングの理論や方法、基本的態度を学ぶことです。その2は、それらと比較することでカウンセリング理論の中でも矢島が実践している解決志向アプローチについて理解を深めていただきます。</p> <p>解決志向アプローチのコミュニケーション技法は、カウンセリング場面だけでなく日常生活でも実践でき、人生を前向きにとらえることを目指す技法です。演習ロールプレイを通して解決志向アプローチの「前向きになれるコミュニケーション」を身につけることを目的その3にします。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 臨床心理学、児童生徒の心理と教育相談 | | | | | | | | |
| 授業の進め方 と方法 | 各カウンセリング理論の授業後、理解確認のためにレポートを課題にします。また解決志向アプローチの授業では講義の他にカウンセラー役、相談者（クライエント）役でロールプレイ演習を体験していただきレポートにまとめていただきます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第1回】 | 第1回オリエンテーション | | | | | | | | |
| 授業計画 【第2回】 | 第2回皆さんのカウンセリングについてのイメージをお聞きしながら「カウンセリングとは？」について講義する。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第3回】 | 第3回カウンセリング＝コミュニケーションという視点から、皆さんがコミュニケーションで大事にしていることをお聞きし「良いコミュニケーションとは？」について講義する。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第4回】 | 第4回代表的なカウンセリング理論を紹介し、カウンセリングのとらえ方の違いを講義する。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第5回】 | 第5回クライエント中心療法の傾聴技法について講義する。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第6回】 | 第6回ロジャーズのパーソナリティ変化のための必要にして十分な条件を学ぶ。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第7回】 | 第7回ロジャーズの積極的傾聴について、ロールプレイ演習で体験し身に付ける。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第8回】 | 第8回解決志向アプローチの解決を生むコミュニケーションと、その反対の問題を生むコミュニケーションと比較することで理解する。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第9回】 | 第9回解決志向アプローチのコンプリメントについて理解する。なおコンプリメントとは相談者（クライエント）をほめ、承認し、労うことを意味し、解決志向アプローチの基本的姿勢でもあります。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第10回】 | 第10回矢島が実践する解決志向カウンセリングの中心哲学について理解する。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第11回】 | 第11回解決志向カウンセリングの効果的質問法について理解する。 | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|---|
| 授業計画 【第12回】 | 第12回解決志向アプローチのコンプリメントをロールプレイ演習で体験し理解する。 |
| 授業計画 【第13回】 | 第13回解決志向アプローチの効果的質問法についてロールプレイ演習で体験し理解する。 |
| 授業計画 【第14回】 | 第14回解決志向アプローチのカウンセリングの進め方について理解し、コンプリメント、効果的質問法を用い「前向きになれるコミュニケーション」を実践できるようになる。 |
| 授業計画 【第15回】 | まとめ |
| 授業の到達目標 | カウンセリングの諸理論を理解し説明できるようになる。 解決志向アプローチの特徴を知り説明できるようになるとともに「前向きになれるコミュニケーション」を実践できるようになる。 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) |
| 授業時間外の学修 【予習】 | 予習 授業の際に次回の内容を提示するので体験を含む関連情報をまとめておく。 |
| 授業時間外の学修 【復習】 | 復習 授業終了後に示す課題についてレポートを作成する。 |
| 課題に対する フィードバック | |
| 評価方法・基準 | 授業時間内に提出または次回に提出のいずれかのレポートと最終単位認定レポート計10回のレポートを課題にし評価します。1レポート10点 |
| テキスト | 授業毎に資料を配布します。 |
| 参考書 | 森 俊夫 「先生のためのやさしいブリーフセラピー 読めば面接が楽しくなる」ほんの森出版 ISBN 4-938874-16-4c3011 |
| 備考 | |